



三本木の観どころ
道の駅三本木「やまなみ」にはたくさんのお土産やフードコートがあり、訪れた人の笑顔で溢れています。
物産コーナーには、ひまわりの種を使用したお菓子など、工夫を凝らした商品が並びます。
近くには、「亜炭記念館」があり、当時使用していた車や重さ10トンの炭塊、坑道の模型などが展示されています。市民ギャラリーも併設され、作品が飾られています。

三本木 Sanbongi



記念館入口には、亜炭運搬用に使われていたオート三輪を展示



ひまわりの種をトッピングし、キャラメルをコーティングしたサクサクの「ひまわりリングパイ」



「酒ミュージアム」には、昔の酒造りに使われた貴重な道具や酒造りの工程をわかりやすく紹介した模型が展示されています。隣接した地酒や「華の蔵」では、飲食の提供（7月から再開予定）や一ノ蔵の日本酒などの物産も販売しています。
スポーツ施設も充実しています。松山B&G海洋センターのプールが改修され、6月17日（水）にお披露目されました。より一層使いやすい、親しみやすい施設となりました。



松山 Matsuyama

松山の観どころ



「シナイモツゴ郷の会」環境大臣表彰受賞



▲シナイモツゴ郷の会 高橋理事長（右から2人目）と郷の会の皆さん。中央は伊藤大崎市長。

「シナイモツゴ郷の会」が環境大臣表彰を受賞しました
鹿島台のNPO法人「シナイモツゴ郷の会」が令和2年度「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰を受けました。
「シナイモツゴ郷の会」は平成14年に任意団体として設立し、平成16年に法人化しました。シナイモツゴなどの保護や、旧品井沼の保全、アメリカザリガニの駆除などの活動に取り組んでいます。
環境大臣表彰は、自然環境の保全に関する顕著な功績があった人や団体を表彰するもので、「シナイモツゴ郷の会」は保全活動部門で表彰を受けました。

鹿島台 Kashimadai



有限会社 マルセンファーム 代表取締役 千葉 卓也 さん

命(食)をつなぐ 仕掛人

災害を越えて、再起へ

令和元年東日本台風の影響を大きく受けましたが、あきらめることなく農業と向き合い、今年4月にトマトを収穫することができました。しかし、例年の収穫時期は11月からであり、皆さんが期待していたシーズンの収穫にはなりません。今後は期待に応え、例年通りに収穫できるように準備をしているところです。
新型コロナウイルス感染症の影響も少なからずあるため、インターネット販売の拡充も視野にいれ、販路の拡大をしていきたいと思っています。従業員一同、手洗いうがいなどの感染症対策を十分に行い、農業に従事していきます。
トマトの販売は7月上旬までの予定ですが、トマトジュース「あかい実りの贅沢しほり」の販売は行っています。さらりとした飲みやすさがあり、濃厚でさわやかな味わいがあります。ぜひ「ご賞味いただきたいです」。